

全体	31
個別	07-01

## 平成28年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

No.	項 目	對馬椎茸” やる倍” ナバダス計画総合対策支援事業
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	【 内 容 】	「對馬椎茸” やる倍” ナバダス計画」に基づき、計画的にしいたけ振興策を図ります。
		①生産者のやる気を倍増 価格の安定化(生しいたけ安定価格買取)
		②生産量を倍増 作業の効率化(生産団地・省力化機械器具導入、種駒補助制度)
		③系統(全農市場)外出荷量を倍増 分業化・安定供給(量、品質、納期)に向けたルールづくり
	【 指 標 】	
		○大型生産団地導入支援 1団地
		○しいたけ生産推進 種駒補助1,300万個
		○對馬しいたけ販路拡大流通体制構築支援 物産展40回 調理方法開発・発信1式
		○生産量 乾47.9トン 生82.2トン
	<b>2. 実績(成果)</b>	
		○大型生産団地導入支援 1団地 (しいたけ生産組合賀佐協業体)
		○しいたけ生産推進 種駒補助1,179万個
		○對馬しいたけ販路拡大流通体制構築支援 物産展27回
		○生産量 乾39.3トン 生73.1トン
	<b>3. 評 価</b>	△
		生産者の高齢化や後継者不足を理由として種駒補助の個数が指標を下回りましたが、しいたけ生産組合賀佐協業体の施設整備が行われたことにより将来的には植菌数及び生産量が増となる要因もあります。 物産展についても回数は指標を下回りましたが、地道な営業活動により確実に販路は広がっています。
	<b>4. 今後の展開</b>	
		引き続き、「對馬椎茸” やる倍” ナバダス計画」に基づき、計画的に對馬しいたけの振興を図っていくこととし、生産量増・消費拡大・販路開拓に向けた取組を行っていきます。

全体	32
個別	07-02

## 平成28年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

No.	項 目	市有林整備の推進による循環型森林資源活用のためのオフセット・クレジット提案事業
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
		<p>【 内 容 】</p> <p>【市有林整備】 市有林及び分収林の森林整備を推進します。</p> <p>【 J - V E R 制度関係 】 市有林間伐による二酸化炭素吸収量のクレジット化と販売促進を行います。また、森林組合と協働し、私有林の整備によるクレジット発行も進めていきます。</p> <p>【基金の活用】 民有林を含め、森林整備促進のための新たな財源として活用します。 また、森林づくり基本計画及び伐採ガイドラインの実行施策への財源として活用します。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>【市有林整備】</p> <p>①森林整備面積：16ha（利用間伐） ②路網整備：L=3,000m</p> <p>【 J - V E R 制度関係 】</p> <p>①クレジット売買のための企業訪問やイベントへの参加（5回） ②クレジット販売：100t-CO2（収入金：800千円） ③新規契約件数：3件</p> <p>【基金の活用】</p> <p>①ツシマヤマネコの森林づくり事業委託料（1,500千円） ②森林環境に配慮した森林整備補助金（2,500千円）</p>
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
		<p>【市有林整備】</p> <p>①森林整備面積：5.39ha（利用間伐） ②路網整備：L=830m</p> <p>【 J - V E R 制度関係 】</p> <p>①クレジット売買のための企業訪問やイベントへの参加（2回） ②クレジット販売：37t-CO2（収入金：444千円） ③新規契約件数：1件</p> <p>【基金の活用】</p> <p>①ツシマヤマネコの森林づくり事業委託料（1,491千円） ②森林環境に配慮した森林整備補助金（149千円）</p>
	<b>3. 評 価</b>	×
		<p>【市有林整備】 対馬市森林整備計画に基づいた間伐を実施しているところですが、間伐後10年以上経過した所が少なく、また、未間伐の森林は小規模な所が多く目標に達する事ができませんでした。また、分収林も多くあるが、更新契約の関係で施業が出来ない箇所があります。</p> <p>【 J - V E R 制度関係 】 プロバイダー等が主催するマッチングイベントも国の助成制度の見直しにより、今年度は開催されませんでした。</p> <p>【基金の活用】 森林整備補助金の申請は3件あったが少額であったことと、皆伐箇所は80件以上あっているため伐採ガイドラインの認識・周知不足が考えられます。</p>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
		<p>適切な森林整備を進め森林環境の保全に努めるとともに、J-クレジット販売を促進するためにも、企業から関心を受けるような基金の活用による対馬市独自の施策を検討します。</p>

全体	33
個別	07-03

## 平成28年度 [ 農 林 水 産 部 ] 目標の成果

課 名	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

No.	項 目	対馬猪鹿活用促進事業
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	【 内 容 】	<p>対馬猪鹿活用促進事業で、要請があった地区には直接出向き、防護柵の位置情報、捕獲情報等の有害鳥獣対策の現状を地域住民にフィードバックするため、学習会を民間事業者に委託し実施します。対策の主体は地域であり、行政は対策をサポートするため蓄積された情報を根拠に効果的な体制づくりのサポートに徹します。(行政依存体質の脱却)</p> <p>被害対策を推進するための防護柵の整備については、新規柵の整備、居住区域内安全対策、家庭菜園等防護柵と、事業メニューが多く市民の理解度が低い事から、学習会開催時に被害対策についての正確な情報提供に努めます。</p> <p>また、有害鳥獣の資源活用として食肉加工品や皮革製品等に取り組み、食べて美味しい、使って楽しい等、市民が有害鳥獣対策に関わるきっかけをポジティブなイメージにするため、普及啓発活動を実施します。特に学校給食での食材利用や市内飲食店での活用を促進し、地域食材としての食育と担い手育成に繋げていきます。</p>
	【 指 標 】	<p>①地域主導の被害対策推進地区増加数：5地区</p> <p>②地区捕獲隊増加数：5地区</p> <p>③「イノシシ・シカに関する地区学習会」開催：5地区</p> <p>④有害鳥獣利活用及び人材・担い手（対馬の子供達）育成          学校給食食材利用校：1校          総合的学習「有害鳥獣対策」開催：1校</p> <p>⑤各種防護対策の実施</p>
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
		<p>①地域主導の被害対策推進地区増加数：3地区 (居住区域内安全対策として防護柵を集落周辺に設置)</p> <p>②地区捕獲隊増加数：0地区</p> <p>③「農業相談会及び防護柵要望受付」開催：29箇所          ※農業相談会ではなく被害対策サポート事業として島内全域に随時職員が出向き対応</p> <p>④ワークショップ開催：1回(対馬いとなみ協議会主催：10/18 約50名参加)</p> <p>⑤厳原中学校1年生約60名対象に有害鳥獣対策の授業実施(合計10時間)          イノシシソーセージづくり教室(対馬市民 約20名参加)          レザークラフト講座(対馬市民、市職員等)          資源活用推進(衛生的な解体・加工実施、皮革を活用した普及啓発活動実施)</p> <p>⑤各種防護対策の実施(国交付金、市単独補助事業を活用)</p>
	<b>3. 評 価</b>	○
		<p>地区捕獲隊の推進については説明会等を行ったが捕獲隊の結成まで結びつきませんでした。          今後も継続的な活動を行い、防護と捕獲を推進していきます。</p>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
		<p>捕獲隊については、地域が主体となり、農地や居住区域等を守っていけるように推進を行い、行政主体ではなく、あくまで地域が主役となるように推進を行います。</p> <p>資源活用については、多くの市民を巻き込んだ有害鳥獣対策を促進するためのツールとして、積極的に取り組み、さらには、対馬の新たな産業、雇用創出に繋がりを、地域を護る事がお金になる仕組みを構築していきます。</p>

全体	34
個別	07-04

## 平成28年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

No.	項 目	学校給食地場農林水産物導入事業
	<b>1. 組 織 目 標</b>	<p>【 内 容 】</p> <p>学校給食での地場農林水産物利用に係る食材供給について、特産・推奨品である椎茸・あか牛・野菜及び水産物購入への支援を行います。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>農林水産物の需給システムを構築します。</p> <p>学校給食に地場産品を使用する割合：重量比</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米 年40回 (補助限度回数)</li> <li>・ しいたけ 100%</li> <li>・ 野菜 ※ 30% ※野菜は、しいたけ・果物を除くすべての野菜 <ul style="list-style-type: none"> <li>うち、アスパラガス 60%</li> <li>たまねぎ 40%</li> <li>じゃがいも 40%</li> </ul> </li> <li>・ 海藻類 年30回以上</li> <li>・ 魚介類 年35回以上</li> </ul>
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	<p>需給システム構築のため、農協、振興局、給食栄養士及び市で協議を行いました。</p> <p>学校給食に地場産品を使用する割合：重量比</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米 年54.6回</li> <li>・ しいたけ 89.8%</li> <li>・ 野菜 ※ 15.6% ※野菜は、しいたけ・果物を除くすべての野菜 <ul style="list-style-type: none"> <li>うち、アスパラガス 67.7%</li> <li>たまねぎ 27.4%</li> <li>じゃがいも 25.1%</li> </ul> </li> <li>・ 海藻類 年33.5回</li> <li>・ 魚介類 年46回</li> </ul>
	<b>3. 評 価</b>	△
		<p>海藻類、魚介類については目標を達成し、前年よりも使用回数が増加しています。また、アスパラガスについても同様に目標達成していますが、野菜全体としての使用割合はまだ少ない状態です。</p>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	<p>地場産野菜の使用割合を高めるため、農家や農協に協力を仰ぎながら、安定して供給出来る体制を整えて、目標達成に向けて取り組みます。</p>

全体	35
個別	07-05

## 平成28年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	農 林 ・ し い た け 課
-----	-----------------

No.	項 目	対馬の農林水産業担い手・『林業女子』育成及び『人財』発掘事業
	<b>1. 組 織 目 標</b>	
	<p>【 内 容 】</p> <p>市の基幹産業である漁業、林業等において、生産者の高齢化及び後継者不足により新規の担い手確保が急務です。農林産業分野の事業者、漁協等の団体、市が一体となって新規就業のための移住相談会への参加及び合同面談会を開催し、就業意向者と事業者側のマッチングの機会及び新規参入者向けの説明会などを実施します。</p> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新規林業従事者 5 名</li> <li>○新規漁業従事者 3 名</li> <li style="padding-left: 20px;">計 8 名</li> </ul>	
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業検討会及び採用者向け研修会 3 回開催</li> <li>○移住相談会参加及びお盆時季合同企業面談会開催 1 1 回参加及び 1 回開催</li> <li>○新規漁業就業者向けチラシ・ポスター制作及び新規林業従事者勧誘タペストリー制作</li> <li>○新規農林水産業従事者 3 3 名（うち農業 2 名、森林整備業 1 4 名、製材加工業 8 名、水産業 9 名）（うち I ターン 8 名、U ターン 7 名）</li> </ul>	
	<b>3. 評 価</b>	○
	<p>○指標を大きく上回る新規農林水産業従事者の確保及び育成ができました。引き続き、移住相談会や企業面談会等を通して、企業と就業希望者とのマッチングを図り、担い手・後継者の育成及び確保に努めます。</p>	
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	
	<p>本事業を継続して推進していきますが、ホームページ等を開設していないなど情報発信できていない参加企業が大半であることから、島外対策として市内参加企業の情報発信に努めます。</p> <p>企業面談会等に参加する企業へ、登録無料の長崎県が運営する就職応援サイト「Nなび」や長崎インターンシップ推進協議会への登録を参加企業へ働きかけます。</p>	

全体	36
個別	07-06

平成28年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 課
-----	-------

No.	項 目	魚礁設置事業
	1. 組 織 目 標	
	<p>【 内 容 】</p> <p>・魚礁を地先漁業権内に設置し、漁業生産量の確保を図ります。近場の漁場を整備することにより漁業者の高齢化にも配慮した環境を整えます。</p> <p>【 指 標 】</p> <p>・魚礁9,000空<sup>3</sup>m<sup>3</sup>（安神・久和・阿連・高浜：6,000空<sup>3</sup>m<sup>3</sup>（27線）、豆敷・瀬：3,000空<sup>3</sup>m<sup>3</sup>（28））</p>	
	2. 実 績（成果）	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安神工区 1,513空<sup>3</sup>m<sup>3</sup></li> <li>・久和工区 1,513空<sup>3</sup>m<sup>3</sup></li> <li>・高浜工区 1,723空<sup>3</sup>m<sup>3</sup></li> <li>・阿連工区 1,591空<sup>3</sup>m<sup>3</sup></li> <li>・豆敷工区 1,589空<sup>3</sup>m<sup>3</sup></li> <li>・瀬工区 1,879空<sup>3</sup>m<sup>3</sup></li> </ul>	
	3. 評 価	○
	<p>・H27年度繰越事業分及びH28年度事業分とも年度内契約・施工し完了しました。</p>	
	4. 今 後 の 展 開	
	<p>・平成30年度以降の長期5ヶ年計画（21ヶ所）を県に申請しており、許可後は速やかに着工できるよう取り組みます。</p>	

全体	37
個別	07-07

## 平成28年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 課
-----	-------

No.	項 目	水産物の輸送費補助
	<b>1. 組 織 目 標</b>	<p>【 内 容 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産物を島外へ出荷する際の輸送コストに係る経費を財政的に支援することで、漁業者の所得安定及び減少に歯止めをかけ、漁業の発展へ繋がります。</li> </ul> <p>【 指 標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・181万9千箱分に対して支援を行います。</li> </ul>
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・137万7千箱に対しての支援を実施しました。</li> </ul>
	<b>3. 評 価</b>	<p style="text-align: center;">△</p> <p>・昨年度は対前年比1.87%増と予想を上回りましたが、今年度はヨコワが豊漁すぎて総枠での規制域に達し、漁獲できない時期が数ヶ月あり、加えて主力のイカ漁も不振続きとなり、目標181万9千箱分に対して137万7千箱分と24.3%と大幅に下回りましたが、漁業者の負担軽減に努めました。</p>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度は補助制度の変更に伴い、通常の上陸輸送に加え、空輸輸送・餌の海上移入の三つの助成及び補助率のアップにより、漁業者の意欲向上につなげ、平成28年度以上の実績を見込んでいます。</li> </ul>

全体	38
個別	07-08

## 平成28年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	水 産 課
-----	-------

No.	項 目	「海洋保護区」の設定
	<b>1. 組 織 目 標</b>	<p>【 内 容 】</p> <p>水産資源の持続的利用と伝統的な漁業の継承を図るために「海洋保護区」の設定を目指します。設定推進協議会は、科学的根拠に基づく科学委員会の答申を検討し、区域設定や区域内の資源管理計画を策定し、国や県などに働きかけて対馬らしい海洋保護区の設定を目指します。</p> <p>【 指 標 】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 魚種・漁法毎の資源管理計画を作成します。</li> <li>② 「（仮称）海洋保護区しまうみ運営規範」の作成に向け、情報収集・整理等を行います。</li> <li>③ 海洋保護区PR番組を放送するほか、科学委員会報告書概要版、海洋保護区リーフレットを配布します。</li> <li>④ 九州大学等外部研究機関との連携を深めます。</li> <li>⑤ 資源管理活動のデータ化を行います。</li> </ol>
	<b>2. 実 績（成果）</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 水産資源管理計画（案）を作成しました。</li> <li>② 「対馬海洋保護区しまうみ運営規範（案）」の練り上げ作業を行いました（運営規範を管理計画に名称変更）。</li> <li>③ 海洋保護区PR番組を対馬市CATVで放映しました。</li> <li>④ 九州大学等外部研究機関と連携し、トレーサビリティの実証実験等に取り組みました。</li> <li>⑤ 資源管理活動のデータ化には至りませんでした。</li> </ol>
	<b>3. 評 価</b>	△
		<p>対馬版海洋保護区設定に向け、海洋保護区設定推進協議会において、「対馬海洋保護区しまうみ運営規範（第一次案）」の練り上げ作業を行いました（運営規範を管理計画に名称変更）。また、設定推進協議会の中に「磯資源作業部会」と「藻場再生作業部会」の2部会を設置しました。</p> <p>普及啓発活動としては、対馬市CATVによるPR番組の放送や各種イベント・会議においてリーフレットを配布しました。</p> <p>そのほか、藻場再生の取組の一環として、食害魚一斉駆除に関するアンケートを実施しました。</p>
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>	<p>引き続き「対馬海洋保護区管理計画案」の練り上げ作業を行うとともに、海洋保護区設定に向け、まずは導入を実現するため、共同漁業権の海域において磯資源の適正な管理や藻場再生の取組など、できることから取り組んでいきます。また、対馬の海の重要性や海洋保護区設定の必要性について、広く市内外にPRします。</p>



全体	39
個別	07-09

平成28年度 [農 林 水 産 部] 目標の成果

課 名	基 盤 整 備 課
-----	-----------

No.	項 目	基盤整備工事の早期発注、早期完成																				
	<b>1. 組 織 目 標</b>																					
	<p>【 内 容 】</p> <p>公共工事の早期発注、完成を図るため、12月末までに委託業務完了100%を目指します。事業効果の早期発現を図るため、12月末までに工事執行100%を目指します。</p> <p>【 指 標 】</p> <table border="0"> <tr> <td>平成28年12月</td> <td>委託業務完了予定額</td> <td>100%目標 (86百万円)</td> </tr> <tr> <td>平成28年12月</td> <td>委託業務完了予定件数</td> <td>委託 11件</td> </tr> <tr> <td>平成28年12月</td> <td>工事執行予定額</td> <td>100%目標1,665百万円)</td> </tr> <tr> <td>平成28年12月</td> <td>工事執行予定件数</td> <td>工事 27件</td> </tr> </table>	平成28年12月	委託業務完了予定額	100%目標 (86百万円)	平成28年12月	委託業務完了予定件数	委託 11件	平成28年12月	工事執行予定額	100%目標1,665百万円)	平成28年12月	工事執行予定件数	工事 27件									
平成28年12月	委託業務完了予定額	100%目標 (86百万円)																				
平成28年12月	委託業務完了予定件数	委託 11件																				
平成28年12月	工事執行予定額	100%目標1,665百万円)																				
平成28年12月	工事執行予定件数	工事 27件																				
	<b>2. 実 績 ( 成 果 )</b>																					
	<table border="0"> <tr> <td>平成28年12月</td> <td>委託業務完了額</td> <td>実績額</td> <td>125百万円中、42百万円</td> <td>33.6%</td> </tr> <tr> <td>平成28年12月</td> <td>委託業務完了件数</td> <td>実績件数</td> <td>24件中、10件</td> <td>41.7%</td> </tr> <tr> <td>平成28年12月</td> <td>工事執行額</td> <td>実績額</td> <td>1,678百万円中、1,361百万円</td> <td>81.1%</td> </tr> <tr> <td>平成28年12月</td> <td>工事執行件数</td> <td>実績件数</td> <td>32件中、24件</td> <td>75.0%</td> </tr> </table> <p>漁港事業においては、新規着手工種が多数発生したことにより、設計協議に日数を要し進捗が遅れました。また、工事については諸手続きの遅延や、同一工種における前年度繰越工事の工期制約を受けたため執行が遅延しましたが、繰越工事は縮減傾向にあります。</p> <p>林道事業については、新規路線の設計協議に日数を要したため、工事発注時期が遅れ、目標を達成することができませんでした。</p>	平成28年12月	委託業務完了額	実績額	125百万円中、42百万円	33.6%	平成28年12月	委託業務完了件数	実績件数	24件中、10件	41.7%	平成28年12月	工事執行額	実績額	1,678百万円中、1,361百万円	81.1%	平成28年12月	工事執行件数	実績件数	32件中、24件	75.0%	
平成28年12月	委託業務完了額	実績額	125百万円中、42百万円	33.6%																		
平成28年12月	委託業務完了件数	実績件数	24件中、10件	41.7%																		
平成28年12月	工事執行額	実績額	1,678百万円中、1,361百万円	81.1%																		
平成28年12月	工事執行件数	実績件数	32件中、24件	75.0%																		
	<b>3. 評 価</b>	△																				
	<p>早期着工については、国の早着認可制度等を利用して行いましたが、新規着手工種の許認可事務及び、測量、調査、設計等の委託業務や地元協議に時間を要した事により、本工事着手が遅れ目標100%達成が出来ませんでした。</p>																					
	<b>4. 今 後 の 展 開</b>																					
	<p>未着手分の早期着工及び新規工種の断面決定を行い、計画的に各種事務処理手続きを完了させ、工事の早期完成を目指します。</p> <p>また、地元要望に迅速に対応するため、関係者と連携を取りながら適切かつ有効な事業計画の立案に努めます。</p>																					